

会議名　ニセコ町学校運営協議会推進委員会（第8回 平成28年度・第4回）

開催日　平成28年10月24日	会議時間	開会 午後7時00分 閉会 午後8時35分
会議場所 ニセコ町役場 第2庁舎 大会議室	記録者	ニセコ中学校事務職員 三坂 宜巳

出席委員：渡邊委員、矢島委員、松本委員、橋元委員、本田委員、井上委員、山野委員、酒井委員、飯田委員、小中委員、田邊委員、菊地委員、加藤委員、高瀬委員
教委：淵野係長、笹森主事、三坂

会議内容

1. 開会

2. 教育町あいさつ

武蔵村山の小中一貫サミットでは、小中一貫とコミュニティ・スクールが連携し進めていた。地区の元PTAの方でもあるCS委員の方からのお話では、“私たちの目標は学校を応援することだ”と生き生きとはなっていたことが印象的であった。

3. 委員長あいさつ

中学校の弁論大会で生徒が入賞した。小学校からの取組みの成果が出ている。こういった喜びを分かち合える地域になっていければよい。

4. 議事

(1) 熟議「ニセコスタイルのコミュニティ・スクール検討」

① 全国・全道のコミュニティ・スクール事例紹介

資料により全国のコミュニティ・スクールについて説明を行った。

② 熟議パートⅡ

前回のグループ熟議の内容をもとに、問題となっていた設置方法と委員構成、協議内容について再検討を行い全体発表後意見のまとめを行った。

<×グループ発表>

- ・設置方法については合同設置。
- ・委員の構成は公募や外国人委員は熟度が上がってから検討を行い、それぞれの委員が地域とつながれるような顔の分かる範囲ではじめる。
- ・事務局にコーディネートできる人材を加え委員としても参画するのが理想だが、その人材が明確になるまでは教育委員会が行う。
- ・活動を具体化するために学習・生活・健康・評価部会をつくり、実動部隊として活動を充実させる。

- ・協議内容では、まち全体でどんな子どもを育てたいかについて熟議を行う。
- ・スケジュールについては、初年度に学校の活動をしているか、学校と地域ではどんなニーズがあるか。3月に学校の運営方針の承認を行い、4月にも新たな校長が来ることもあるので、再度追加承認を行う。年5回の会議を行い、内容については運営の基本方針、取組具体化の為の熟議、中間評価後期に向けての熟議、学校運営に関する評価、評価を受けて新年度の方針の策定提示について。

<Yグループ発表>

- ・設置方法について、幼児センターから高校までの連携・情報共有の場として合同設置とする。
- ・委員については各校長・園長5名を含む15名程度の構成とし、各地域に詳しい方の中から選任を行い、あそぶく関係者や近藤地区の方にはぜひ加わってほしい。
- ・協議会だけの意見ではなく、部会を作りいろいろな意見を取り入れる。
- ・協議内容は学校評価について、学校支援活動について各学校で情報共有を行う。
- ・スケジュールについて、年4回開催し、方針の承認、活動状況の交流、ワークショップ、方針の骨子について協議する。

<Zグループ発表>

- ・設置方法は合同設置。
- ・委員については、学校関係者ではないアイディアマンを加えてみては。
- ・協議内容は、どういった子どもを育てたいかという明確なビジョンについて話し合う。
- ・部会を構成し、保護者と地域の願いを踏まえて構成を行う。
- ・会議は年4回開催し、各学校の特色や課題、学校支援活動について話し合う。

《まとめ》

- ・設置方法については合同設置。
- ・学校の課題解決のために、実働部隊として部会をつくる。
- ・どういった子どもを育てて行きたいか、子ども像や教育ビジョンを考える必要がある。
- ・3、4月に学校運営の承認を行い、年4～5回会議を行う。

(2) まちづくり町民講座

日程・内容を周知

(3) 次回の推進委員会

11月開催予定。

5. 閉会